



ロサンゼルス郡山火事の被災者のための 医薬品、医療用品、医療機器 よくある質問

1. 薬を紛失してしまいました。どうすれば再入手することができますか？

山火事で緊急事態に見舞われた場合、薬を再入手するための選択肢がいくつかあります。処方箋や処方薬の入っていた瓶は必要ありません。ただし、あなたの薬が強い鎮痛剤などの規制薬物である場合は、質問2をご参照ください。

• 薬局へ行く：

- 可能であれば、最初に処方薬を受け取った薬局に電話するか行ってください。
- あなたの薬局がチェーン店で閉店していたり、アクセスできない場合は、同じチェーン店の薬局へ行ってください。その薬局のシステムであなたの薬歴を確認することができます。行きつけの薬局やその他のチェーン店に行けない場合は、どこでもいいので開いている薬局に行ってください。処方箋を転送してくれます。行きつけの薬局やかかりつけ医に連絡がつかない場合、通常の薬が手に入るまでの間十分な量の薬を処方してもらえます。これは、ロサンゼルス山火事のような緊急時に許可されています。pharmacy.ca.gov/licensees/state_of_emergency_la.pdfをご参照ください。

注：現在の緊急時には、どこで処方薬を受け取っても、通常の自己負担額だけで済みます。これは、通常のレフィル処方には早すぎたり、ネットワーク外の薬局に行ったりした場合でも同様です。詳細は dmhc.ca.gov/Resources/Newsroom/PressReleases/January9,2025.aspx をご覧ください。

• 医療保険会社に電話で問い合わせる：緊急事態発生時には、保険会社が処方薬を薬局へ届けたり、早期の薬のレフィル処方も認めたりします。さらに、医療用品や医療器具のサポートもしてくれます。これにはメディケアおよびすべてのメディケア・アドバンテージプランが含まれます。

- L.A. Care 会員のための情報: <https://www.lacare.org/members/health-news-advisories/los-angeles-wildfires-2025-member-services-updates>
- Health Net 会員用情報: https://www.healthnet.com/content/healthnet/en_us/news-center/news-releases/2025-01-08-health-net-providing-special-assistance-members-affected-palisades-fire.html
- メディケア会員用情報: <https://www.cms.gov/files/document/dme-emergency-provider-response-support-tool.pdf>

• かかりつけ医に連絡する：医師や医療クリニックと連絡が取れる場合は、処方薬の緊急レフィルが必要であることを伝えてください。

• 上記のどれもできない場合や新しい処方薬が必要な場合は、遠隔診療サービスを利用してください。質問4と5をご参照ください。



ロサンゼルス郡山火事の被災者のための

医薬品、医療用品、医療機器

よくある質問

2. 紛失した薬は規制薬物です。どうすれば再入手することができますか？

- 依存症の薬物療法（MAT）が必要な場合は、MAT 相談ラインに電話して処方依頼を依頼してください。相談ラインは年中無休、午前 8 時から午前 0 時まで 213-288-9090 で受け付けています。
- その他の規制薬物は、普段処方してくれる医療機関に電話してください。連絡が取れない場合は、緊急医療機関を受診しましょう。

3. 薬を再入手する際にかかる費用が心配です。何か保障や経済的な援助はありますか？

はい。医療保険に加入しているかしていないかによりオプションは異なります。

- 医療保険に加入している場合
 - すべての医療保険は、山火事の被害を受けた会員のために、医療上必要なすべての処方薬、医療機器、用品をカバーすることが義務付けられています。現在の緊急事態の間、どこで薬を処方してもらっても、通常の自己負担額で済みます。これは、通常のレフィル処方には早すぎたり、ネットワーク外の薬局に行った場合にも適用されます。dmhc.ca.gov/Resources/Newsroom/PressReleases/January9,2025.aspx をご覧ください。
- 健康保険に加入していない場合、薬が保険適用外の場合、自己負担額を払えない場合：
 - 対象となる場合は、**緊急処方薬支援プログラム（EPAP）**を利用する：医療保険に入っていない、火災の被害を受けた特定の地域に住んでいる場合は、EPAP を利用できる対象となる場合があります。EPAP は、緊急事態発生時や避難中に紛失または破損した処方薬、医療用品、耐久医療機器の再入手をすべて無料で支援します。ワクチンも無料で提供しています。対象資格や登録については、EPAP ホットライン（1-855-793-7470）までお電話でご確認ください。詳細情報は aspr.hhs.gov/EPAP をご覧ください。
 - 群のプログラムを利用する：ロサンゼルス郡は、低所得者向けの医療保険オプションを提供しています。[LA County's Health Services](https://www.lacounty.gov/healthservices) をチェックまたは 2-1-1 に電話してください。
 - 薬剤師に相談する：薬局には割引プログラムがある場合や、[GoodRx](https://www.goodrx.com) のようなオンライン・リソースからのクーポンを受け付けていることがあります。

4. 新しい処方薬が必要になった場合、遠隔医療をどのように利用できますか？



ロサンゼルス郡山火事の被災者のための

医薬品、医療用品、医療機器

よくある質問

- **保険会社が提供する遠隔医療:** 多くの医療保険会社が無料または低料金の遠隔医療サービスを提供しています。保険カードに記載されている番号に電話するか、保険会社のウェブサイトをご覧ください。
- **Teladoc Health** (テラドックヘルス: 1-855-225-5032: 年中無休 24 時間受付) は、無料の遠隔医療サービスを提供しています。サービスには、呼吸器感染症、アレルギー、副鼻腔の問題、風邪やインフルエンザの症状などの治療が含まれます。テラドックは、規制薬物でない薬のレフィル処方のお手伝いもしています。詳細については、teladochealth.com/info/disaster-hotline をご覧ください。
- **GoodRx** は、無料のオンラインで医師の診療を提供しています。困っているロサンゼルスの人々は、LA-GOODRX-CARE のコードを使用して、レフィル処方を含む様々な状況に対応することができます。詳しくは goodrx.com/care をご覧ください。

5. 薬局や医療保険とのコミュニケーションはどうすればよいですか？

- **災害リソースセンター (DRC)** をお訪ねください。DRC の看護師は、情報、教育、臨床的な健康上の懸念についての紹介でご家族の皆さんをお手伝いすることができます。また、薬局や医療機関に連絡して、薬を入手することもできます。必要であれば、看護師は公衆衛生遠隔医療サービス (Public Health Telehealth Service) を利用して新しい処方薬を提供し、かかりつけ医と連絡が取れるようになるまで家族をサポートします。

ウエストサイド:

UCLA Research Park West

10850 West Pico Blvd.

Los Angeles, CA 90064

毎日営業: 午前 9 時から午後 8 時まで

イーストサイド:

Pasadena City College Community Education Center

3035 East Foothill Blvd.

Pasadena, CA 91106

毎日営業: 午前 9 時から午後 8 時まで



薬局や保険会社が災害対応規則に従っていない場合、公衆衛生局までお知らせください。通常の自己負担額より多く請求された場合、またはその他の問題が発生した場合は、<https://forms.office.com/g/BQaAFYsQrA> または QR コードを読み取りご報告ください。

以下のことを
お忘れなく



ロサンゼルス郡山火事の被災者のための 医薬品、医療用品、医療機器 よくある質問

- **あなたは1人ではありません:**

公的機関、非営利団体、薬局、保険会社が協力し、緊急時でもあなたが薬を入手できるよう支援します。

- **援助を求める:** 薬の入手や支払いでお困りの方は、ぜひお知らせください。

- **重要な情報は肌身離さず持ち歩く:** 可能であれば、身分証明書や医療保険証を持っておきましょう。持っていない場合、多くの場合、薬剤師や医療クリニックではあなたの詳細を調べることができます。

詳細情報や支援については、ロサンゼルス公衆衛生局 1-833-540-0473 までお問い合わせいただくか、publichealth.lacounty.gov/media/wildfire をご覧ください。リアルタイムの最新情報は、ソーシャルメディアのフォローをお願いします。

安全に過ごし、必要な薬を確実に入手するための支援があることを忘れないでください。